

神奈川ネットワーク運動は、地域政党です。生活の課題は政治に直結しています。国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく、多様な地域政党が政策を競い、住みやすいまちをつくる社会をめざします。



〒216-0005 川崎市宮前区土橋 1-1-5 第2タイラクビル TEL/FAX: 044-888-1558, 044-948-9828 URL <http://miyamae.kgnet.gr.jp/>



(左)「みんなのサロン」からキッチンを見る。左奥に多目的トイレが見える (右)ウッドデッキ

## 地域に居場所をつくるには..

### —「大場町みんなのいえ」を見学—

宮前ネットは、区内の団体と連携して、多世代が集える場を作りたいと活動しています。住んでいる地域でいつまでも安心して暮らし続けていくあり方のひとつとして、横浜市青葉区に誕生した施設を、5月初旬にさっそく見学してきました。

◆ 地域に点在する  
住む人のいなくなった家

全国的に空き家が急増し、推定で800万戸ともいわれています。神奈川県は空き家率は低い水準にありますが、今後は急速に増加すると考えられます。

宮前区も例外ではなく、住宅地の中に誰も住んでいないと思われる家が点在しています。一人暮らしがなくなった方が亡くなったり施設に入居されたりして空き家となり、ときには持ち主も分からなくなり荒れ放題になっている住宅もあります。

#### ◆ 誰もが集える場を

空き家が課題になっていく中、NPO法人ピッピ・親子サポートネットワークでは、横浜市青葉区で住み続ける事ができなくなった住宅地の中の一戸建てを持ち主から借り受け、市のモデル事業などと組み合わせるとともに「大場町みんなのいえ」を設立しました。

ここでは定員6人の家庭の保育を行い、近隣の方たちが気軽に集え、予約すれば昼食や軽食を食べることもできます。6月からは高齢者のデイサービスも始まる予定です。また、空き家の活用ではありませんが、東京武蔵野市ではテナミリオーンハウスなどが建設、運営費を出して多世代のコミュニティの場をつくり出しています。宮前区に、市民が知恵を出しあって作り出す集いの場が、実現するよう働きかけをしていきます。

### 災害時に役立たせたい!

ミニ太陽光パネルと蓄電池のお話を伺いました

川崎市内にも高効率のLED照明、蓄電池、独立電源などをつくる事業者があります。4月10日、高津区宇奈根にある(株)近藤工芸を訪ねました。



0.5ワットで全方向に明るい携帯LED照明

近藤工芸では、LEDによる照明をつくりてきました。3・11東日本大震災を契機に、災害対策として照明や医療器械などのための太陽光パネルとバッテリーを積極的に開発しているとのことでした。実際に被災地では単3の乾電池を使った広い面を照らす照明器具などが活用され、現在では災害時の照明として市内外での注文に応じています。ミニ太陽光パネルは用途に応じて3ワットから135ワットまであり、バッテリーも同様です。パネルで発電し、なるべくロスを少なくしてバッテリーを有効に使う工夫もしています。真っ暗闇になるおそれがある地震発生時に、小さくても長持ちする独立電源の照明は携帯の充電とともに安心安全につながります。

## INFORMATION

### ◎事務所を移転しました

新住所：  
川崎市宮前区土橋 1-1-5 第2タイラクビル  
\*宮前平駅下車1分 JAの裏です  
電話、FAXはこれまでと同じです。  
044-888-1558, 044-948-9828

### ◎にじの会 (地域の課題 意見交換会)

7月12日 14:00 ~ 16:00  
新事務所ルーフテラスにて

